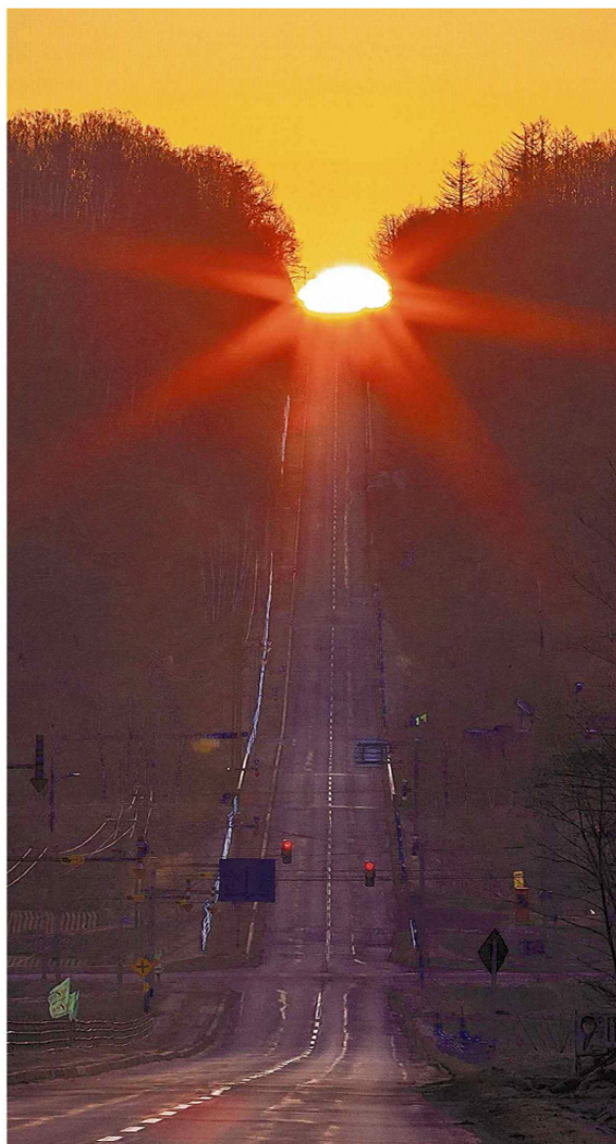




年 組 名前

道新でワークシート



天まで続くような道路の先から昇る朝日
＝1日午前5時15分、幕別町の南10線

幕別



へ一直線

輝く幻想風景

【幕別】日の出前。札内川にかかる愛国大橋を帯広市街から渡り、幕別町途別に向かって東へ1キロ余り進むと、まっすぐな上り坂の向こうが赤く輝き出した。光は徐々にまぶしくなり、道幅いっぱい太陽が姿を見せた。オホーツク管内斜里町の人気観光名所「天に続く道」のようだ。

広大な畑が広がる十勝には、天まで続いているかのように見えるまっすぐな道があちこちに存在する。途別をほぼ東西に走る南10線の道路もその一つ。ここでは春分を過ぎた時期と秋分前の1年に2回だけ、道路のちょうど延長線上から日が昇る。それぞれ数分限りの幻想的な光景だ。

太陽が昇る方角は毎日少しずつずれる。このため他の日は見られない。この場所で次に見られるのは9月11日の午前5時10分ごろだ。（北波智史、写真も）

2021年4月7日（水）朝刊 地方（帯広・十勝） 17ページ（記事は再編集しています）

①見出しの□□に入る言葉を次から選（えら）びましょう。

（ア）斜里（しゃり） （イ）夕日 （ウ）朝日

②傍線部（ぼうせんぶ）に「その一つ」とありますが、何の一つなのでしょう。

「その」が指（さ）している内容（ないよう）を書き抜（ぬ）きましょう。

③この風景（ふうけい）が1年に2回しか見られないのはどうしてですか。その理由を書きましょう。